

12月2日 千草台東小学校異物混入に関する説明会 議事要旨

日時：平成27年12月2日 18時～20時

場所：千草台東小学校図書室

出席者：保健体育課（4名）（担当課長、給食班主査、指導主事、主任栄養士）

千草台東小学校（4名）（校長、教頭、教務主任、学校栄養職員）

公益財団法人千葉県学校給食会（3名）（事務局長、事務局次長、物資課長）

株式会社油信製菓所（2名） 法務・コンプライアンス顧問、製造部長

千草台東小学校PTA（13名）

議事要旨

[保健体育課担当課長]

- ・冒頭の挨拶

[油信製菓所製造部長]

- ・保護者・関係者へのお詫びの言葉

[千葉県学校給食会事務局長]

- ・保護者・関係者へお詫びの言葉

[保健体育課給食班主査]

- ・事件の経緯について説明
- ・給食会が実施した異物混入再現実験の様子をモニターに提示し説明。
- ・再発防止策の実施状況について、モニターに提示し説明。

[千草台東小学校校長]

- ・異物混入発生後、学校内で実施している安全対策について説明

[千葉県学校給食会事務局次長]

- ・給食会の設立経緯及び設立目的、学校給食でのパン・米飯の提供経緯などについて（パン：乳化剤など添加物を使用せず、国産小麦100%を使用している。米：日本穀物検定協会の検定に合格した千葉県産米（JA一等米）を使用）
- ・代替事業者による納入体制の現状について（代替事業者は、様々な工夫により納入を行っているが、供給能力等の観点から、恒久的な対応が難しい）
- ・他の代替事業者の確保は、学校給食の特殊性などを考慮すると難しい（市販のパン・米飯と異なる製造方法、限られた提供日数）
- ・油信製菓所の再開が問題ないと判断した理由について（監視カメラの増設、チェックリスト・マニュアルの見直しなどさまざまな再発防止策の実施、内部管理体制の見直し・強化、外部機関による検査）
- ・給食会としても監査を実施し、各工場の安全を確保するように体制の強化

などについて説明

[給食班主査]

- ・事前に寄せられた質問に対して、回答を実施
- ・引き続き、説明会の会場内での質疑応答

～質疑応答開始～

[保護者]

- ・翌日も同一業者からの納入といった対応は、事後対応としてはありえない。今後、同様の事故が発生した場合に備え、改善していただきたい。

[給食班主査]

- ・検収作業等により安全性を確保し提供したが、ご指摘の点については、真摯に受け止め、今後改善できるように検討していきたい。

[保護者]

- ・原因が特定できない中、再発防止策を講じることができたか疑問。

[油信製菓所]

- ・原因の特定には至らなかったが、作業工程を洗い出し、混入の可能性が考えられる個所については、全て対策を実施した。今後は、故意・過失問わず、起きることが無い体制を作った。

[保護者]

- ・給食会の管理体制では、なぜ発生を避けなかったのか。また、今回の異物混入を受けてどのような見直しを行ったのか。

[千葉県学校給食会]

- ・異物混入に関しては、立入調査や研修会等様々な機会を活用し、各工場を指導し、防止に努めてきたが、タバコを想定した指導・監査は行ってこなかった。ただし、今回の異物混入を受けて、全ての委託加工工場に対して、タバコの管理の徹底、喫煙場所の管理などを行うように指導を行っている。

[保護者]

- ・実際、混入原因・経路はどのように考えているのか。

[油信製菓所]

- ・あくまでも仮定の話ではあるが、(フィルターDNA が一致した)社員が吸っていたタバコの吸い殻を、別の社員が工場内に持ち込み、混入させたということも考えられる。以前は、(炊飯後のご飯を詰めた) ご飯ケースの検品・工場内運搬・配送車への積み込み・学校への配送まで一人に対応しており、第三者のチェックができない体制であったが、これについては、業務分担、監視カメラの重点設置などの対策を講じている。

[保護者]

- ・社内の人間関係はどうだったのか。説明会では、警察の結論如何にかかわらず、会社としての結論を提示していただきたいかった。DNA が一致した本人がこの場に参加して

いることで誠意は伝わるが。

- ・また、異物混入から現在に至るまで説明が少なすぎる。今後、同じような異物混入が発生しないとも限らないので、教育委員会、学校給食会は、保護者の立場にたった対応をしていただきたい。
- ・恨みによる犯行では無かったのか。

[油信製菓所]

- ・異物混入発生後、社内で調査委員会を設け、(恨みの犯行といったような) そういった観点からの全従業員への調査(個別の面談)を実施したが、特に恨みがあるといったようなことは確認できなかった。

[保護者]

- ・他の委託加工工場に油信製菓所が講じた再発防止策を求めることはしないのか。

[千葉県学校給食会]

- ・油信製菓所が講じた再発防止策を、全ての工場に一律に求めることは、工場の状況に応じた対策が必要であり、難しい部分があります。詳細は、別途回答いたします。

[保護者]

- ・油信製菓所の再開をしなくてはならないことについて、いろいろ説明を聞いたが、納得感はない。

[給食班主査]

- ・千葉市としての、代替業者の確保などについて協議を進めてきたところであるが、先ほど給食会からも説明があった通り、いずれも難しいとの回答であった。

[保護者]

- ・給食の安全と給食費の値段を考えるとした場合、値段が上がっても安全を取る。また、コストが問題というのであれば、ご飯については、自宅から持ってくるというのも選択肢としてはあると考える。子供の安全という観点で、幅広く検討いただきたい。

[給食班主査]

- ・小学校でご飯を炊飯する、自校炊飯という方式もあるが、導入コスト、運用コストなどの観点から実施は難しい部分がある。コストと安全性については、検討していくこととしたい。

～質疑応答終了～

[給食班主査]

- ・千葉市としては、油信製菓所の再発防止策などから検討した結果、同様の異物混入が発生する可能性は限りなく低いと考える。
- ・今後、千草台東小学校のパン・米飯納入業者の決定については、保護者の皆様のご意見をお伺いし、それを基に検討し、決定させていただく。